

MILKYWAVE Jazz Live 2019

Kawashima Tetsuro Trio



川嶋哲郎

ジャズプレイヤーの枠を超え、即興音楽家として独特な活動を続けている川嶋哲郎のスペシャルライブ!! 第3弾!

川嶋哲郎 (ts) 小林航太郎 (b) 菅原高志 (d)



Tetsuro Kawashima (Sax, Flute)

1966年8月9日、富山県生まれ。

6才からピアノを始め、12才でトランペット、高校時代にテナーサクセスに転向。大学在学中に独学でジャズを始める。卒業後名古屋で会社員として勤務するが、原朋直(tp)と大坂昌彦(d)に出会い、27歳でプロに転向。テナー、ソプラノサクセスだけでなく近年ではフルートも演奏。

原・大坂5、日野皓正5、大西順子6、日野元彦6等の活動を経て近年では東京銘曲堂(TMD)、メンバーを一新した自身のカルテットの他、ライブワークのソロ、デュオライブ等も精力的に実施。また日野皓正(tp)、山下洋輔(p)とのコンサートも不定期ながら数年に渡って開催。

自己バンドによるアフリカ(セネガル&ギニア共和国)での公演、定期的に単身渡仏しヨーロッパ各国の多数の演奏家との共演を果たす等、国際的にも表現の場を広げている。

2009年1月にはニューヨークとボストンで行われたイベントに竹澤悦子(箏)と共に招待され演奏。

同年より石森管楽器店にてセルフプロデュース公演を定期的で開催。さらには2010年より「サクセス奏法研究会」を定期的で開催している。

また2007年より2010年までJazzLife誌にて「わがままサクセス哲学」を連載、2011年より「気ままにジャズエチュード」を連載中。

2009年度より講師として洗足学園音楽大学での講座を受け持つ。その他、ヤマハミュージックアベニュー・石森管楽器での講座も行なう。

2010年にはジャズと日本文化の象徴である俳句を統合した「Jazz句会」に出演、ジャズプレイヤーの枠を大きく超え、日本人即興音楽家として独特な活動を続けている。

1999年に初リーダーアルバム「ETERNAL AFFECTION」を発表。

2004年からソロパフォーマンスをライブ収録した「天元」シリーズ4タイトル発表。

2006年からはジャンル・楽器問わず、様々なミュージシャンとのデュオアルバムがリリース開始。最新アルバムは、カルテット名義のライブ盤「SOUL SUITE (ソウル・スイート)」

<http://tetsurokawashima.com/>

2019.11/16(土) MILKYWAVE

開場18:00 開演19:00

前売¥3500 当日¥4000 学生¥3000 ◆1ドリンク付

■ 前売チケットあります ■ 電話での予約も承っております ■ 当日はお食事も出来ます ■ 詳しくはスタッフまで

お問い合わせ: ミルキーウェイブ 川越市志多町17-2 049-222-1101

..... MILKYWAVE 営業時間 / Open 11:00 A.M. ~ Close 10:00 P.M. 定休日 / 月曜日(祭日除)

プロフィール

川嶋哲郎 Tetsuro Kawashima (Sax, Flute)

1966年8月9日、富山県生まれ。

6才からピアノを始め、12才でトランペット、高校時代にテナーサックスに転向。大学在学中に独学でジャズを始める。卒業後名古屋で会社員として勤務するが、原朋直(tp)と大坂昌彦(d)に出会い、27歳でプロに転向。テナー、ソプラノサックスだけでなく近年ではフルートも演奏。

原・大坂5、日野皓正5、大西順子6、日野元彦6等の活動を経て近年では東京銘曲堂(TMD)、メンバーを一新した自身のカルテットの他、ライブワークのソロ、デュオライブ等も精力的に実施。また日野皓正(tp)、山下洋輔(p)とのコンサートも不定期ながら数年に渡って開催。

自己バンドによるアフリカ(セネガル&ギニア共和国)での公演、定期的に単身渡仏しヨーロッパ各国の多数の演奏家との共演を果たす等、国際的にも表現の場を広げている。

2009年1月にはニューヨークとボストンで行われたイベントに竹澤悦子(箏)と共に招待され演奏。同年より石森管楽器店にてセルフプロデュース公演を定期的に開催。さらには2010年より「サックス奏法研究会」を定期的に開催している。

また2007年より2010年までJazzLife誌にて「わがままサックス哲学」を連載、2011年より「気ままにジャズエチュード」を連載中。2009年度より講師として洗足学園音楽大学での講座を受け持つ。その他、ヤマハミュージックアベニュー・石森管楽器での講座も行なう。

2010年にはジャズと日本文化の象徴である俳句を統合した「Jazz句会」に出演、ジャズプレイヤーの粋を大きく超え、日本人即興音楽家として独特な活動を続けている。

1999年に初リーダーアルバム「ETERNAL AFFECTION」を発表。

2004年からソロパフォーマンスをライブ収録した「天元」シリーズ4タイトル発表。

2006年からはジャンル・楽器問わず、様々なミュージシャンとのデュオアルバムがリリース開始。

最新アルバムは、カルテット名義のライブ盤「SOUL SUITE (ソウル・スイート)」

<http://tetsurokawashima.com/>



“WATER SONG” 川嶋哲郎
King Record / KICJ-819 / 2019.3.13

♪ ALBUM好評発売中



小林 航太郎 Kotaro Kobayashi (Bass)

1984年11月16日生まれ。神奈川県藤沢市出身。

父がベーシスト、母がヴォーカリストという家庭に生まれる。

幼いころにクラシックのバイオリンとピアノを習い始める。

中学生のときにも部活でチェロを習い始めるが、

そのころに見たアマチュアのジャズバンドを見て、

衝撃をうけ、ジャズに転向。以来、ウッドベースを弾き始める。

ベースの奏法を父である小林新作に師事。

高校生のころから地元藤沢のライブハウスのBECKで演奏活動を始め、

村田浩、松島啓之、風崎好朗、澤田一範、沼田誠司、山田稯、高橋知己、竹内直、

田村博、元風一英、吉田桂一、風宮芥明、小林暁一、Forris L. Fulford, Jr.など、

多くのミュージシャンとの共演経験を積む。

大学に進学後、様々なライブハウスで演奏するようになり、

徐々に活動の幅を広げていく。

現在、大学を卒業し、地元藤沢を中心に自己のバンドの他に、

川嶋哲郎、小林暁一、佐津間純、佐藤節夫、澤田一範、中矢彬弘、村田浩、

山田稯、渡邊恭一らのバンドや、その他セッション等で活躍中。

<http://kotarobass.exblog.jp/>



菅原高志 Takashi Sugawara (Drums)

1976年5月5日福岡県生まれ。二十歳よりフリーのドラマーとして活動を行い、全国各地のライブハウスやイベントに出演し活躍している。山下洋輔(p)

辛島文雄(p)川嶋哲郎(ts)福田重男(p)沼田誠司(as)風崎好朗(tp)松島啓之(tp)竹内直(ts)村田浩(tp)大森明(ts)井上淑彦(ts) 中川英二郎(tb)風崎正典(ts)池田篤(as)MALUTA(as)TOKU(vo. Fl)Nat Reeves (bass)Norman Simmons(p)Bruce Barth(p)Randy Johnston(gt)各氏、その他多数のミュージシャンとの共演を通じて、高い評価を得ている。

2001年には「NHKセッション505」に出演。同年より川嶋哲郎氏との全国ツアーに参加。2003年沼田誠司(sax)氏のツアーに参加。2007年よりRandy Johnston氏とのスプリング・ツアーを開始。同年6月に渡米、N.Y.のジャズクラブ「Cachaca」にてNat Reeves (bass)と共演。Kenny Washington氏に師事。

2009年より東京・神田のジャズクラブTOKYO TUC「第二次ジャズ維新」プロジェクトの企画、出演。

同年、川嶋哲郎氏をフォーチャリングした初のリーダーアルバム「Departure」(CMS)を発表。

2010年には川嶋哲郎氏によるアルバム「Days of Bird」(ポニーキャニオン)に参加。



2019.11.16(sat) milkywave